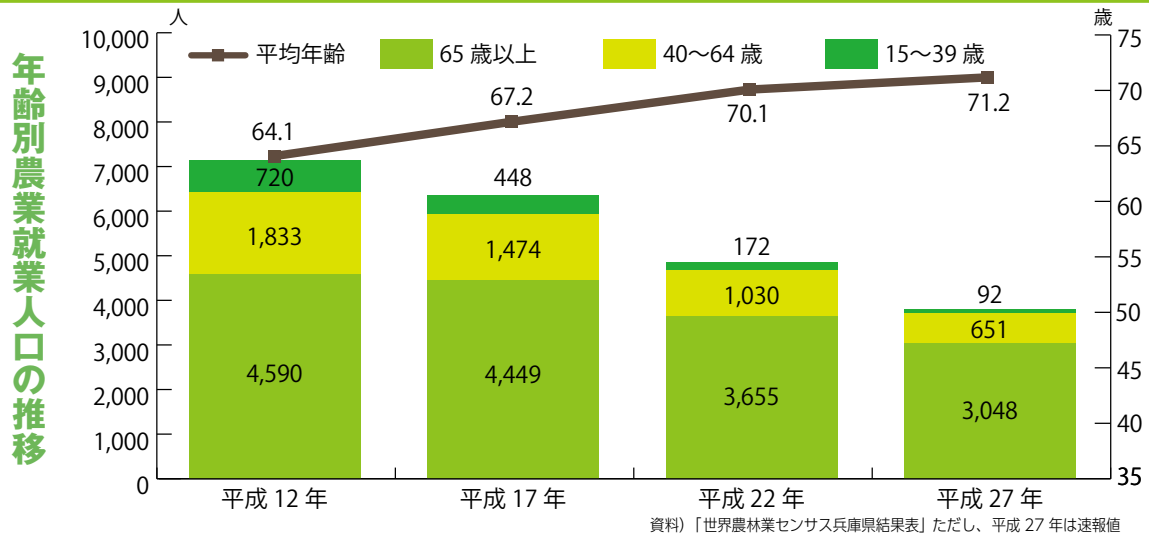
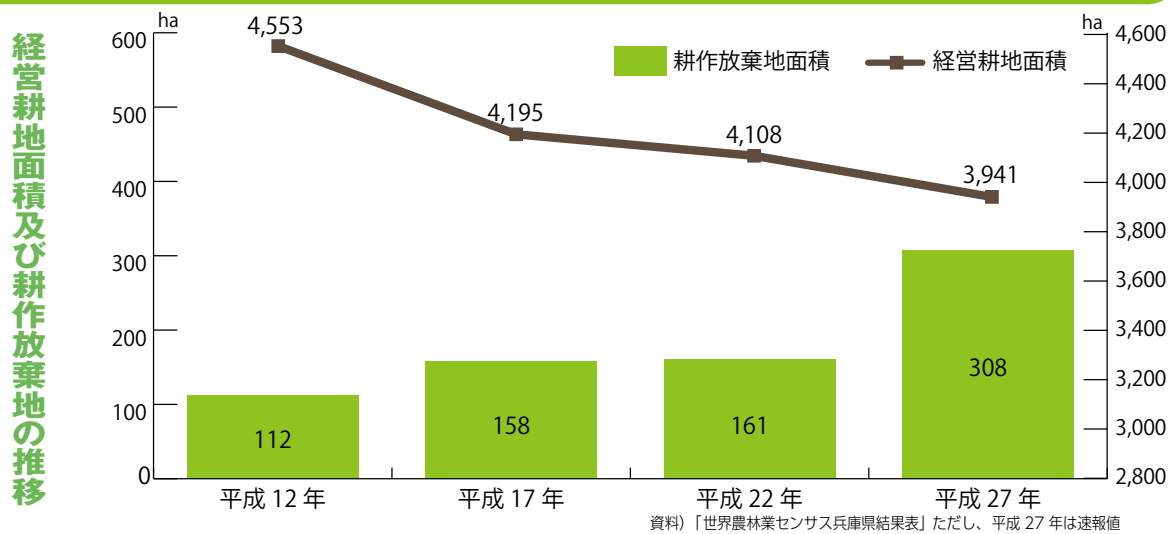


# JA丹波ひかみ管内の 農業概要とその推移

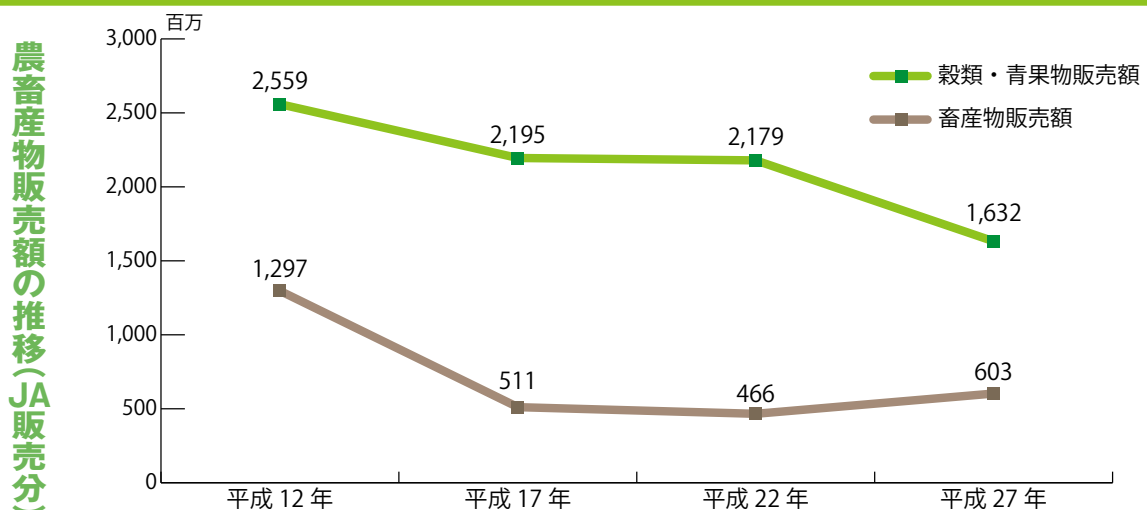
## I. 農業就業人口



## II. 経営耕地面積



## III. 農産物販売額



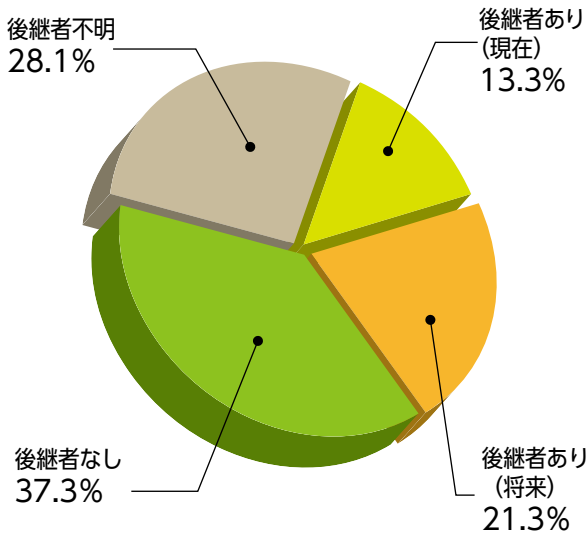
# JA丹波ひかみ 管内組合員・農業者意向調査

平成 27 年 10 月実施

## I. 農業後継者の状態



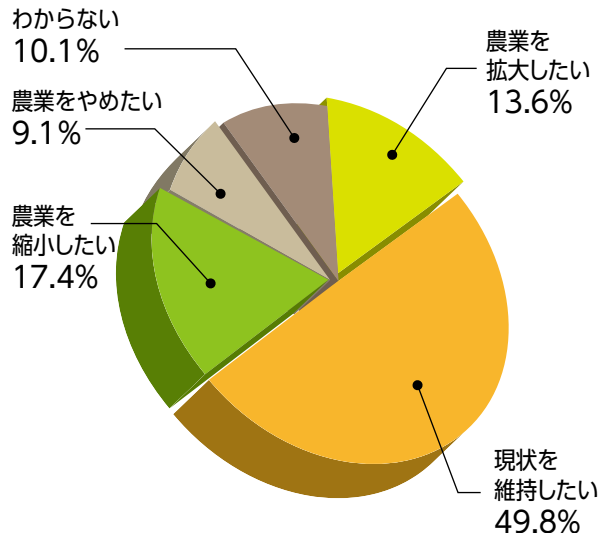
あなたの世帯には農業を継ぐ方がおられますか。



## II. 今後の農業経営



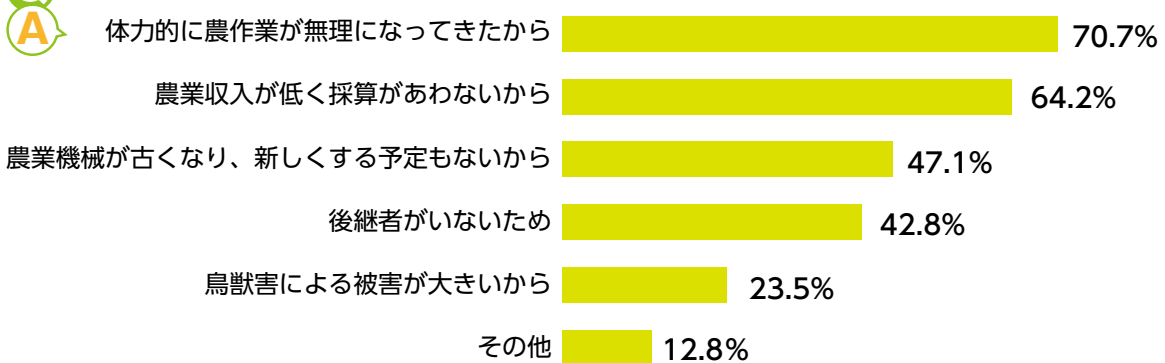
平成 30 年に生産調整が廃止されますが、そのような状況を踏まえ、あなたは今後農業経営をどのようにしたいとお考えですか。



## III. 農業を縮小または止める理由



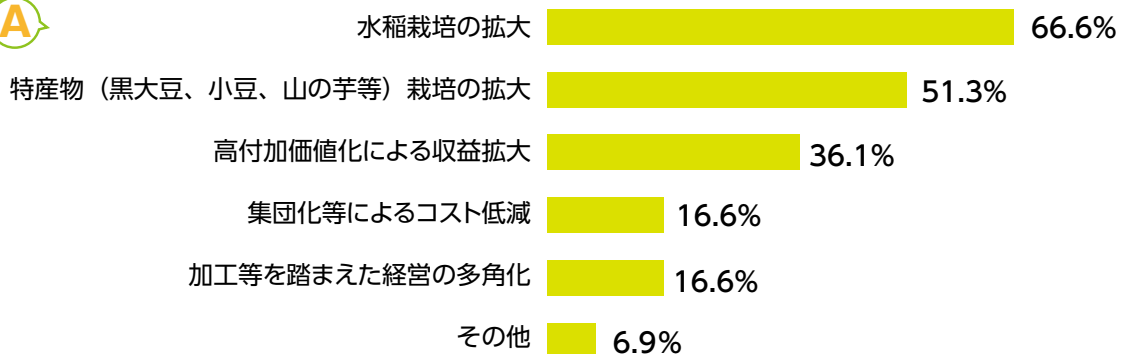
農業を縮小または止めたいと答えられた方の理由は何ですか。(複数回答)



## IV. 農業収入増加・経営規模拡大の方策

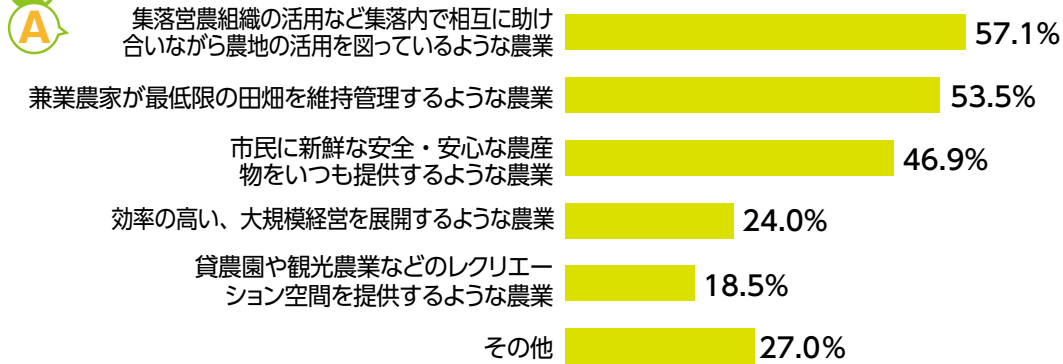


農業収入を増やしていきたい、経営規模を拡大したいと答えられた方はどのような方策をお考えですか。(複数回答)



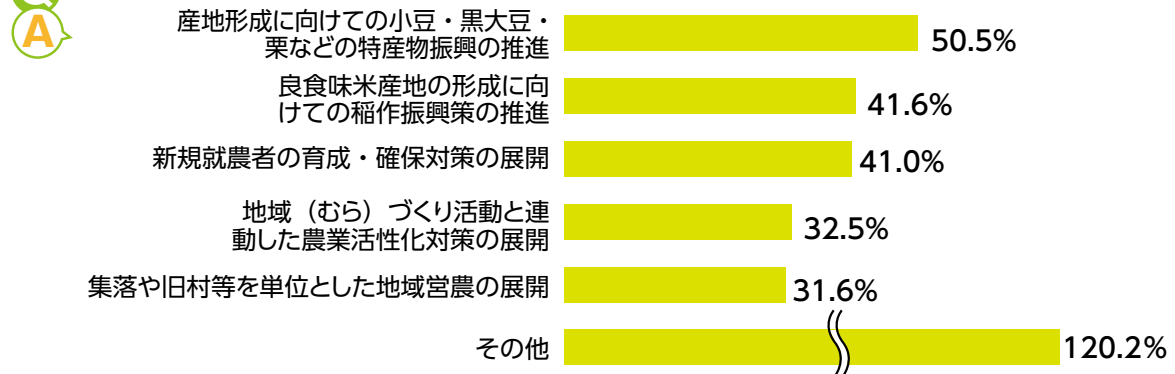
## V. 望ましい農業のあり方

Q 丹波地域の望ましい農業のあり方についてお伺いします。 (複数回答)



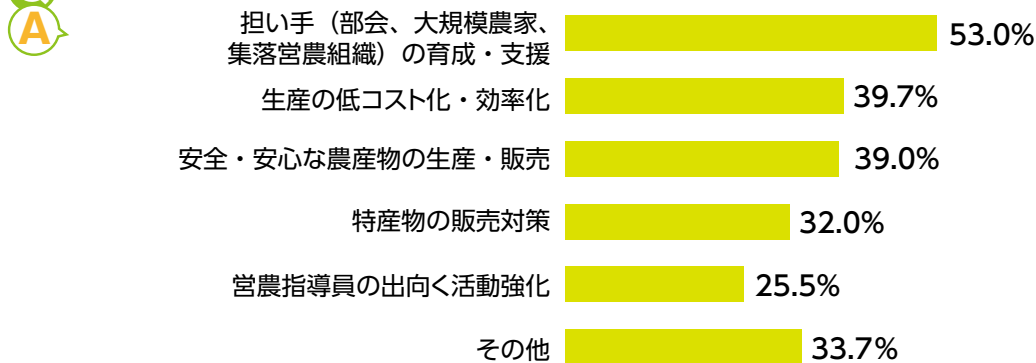
## VI. 農業の振興・活性化の決め手

Q 丹波地域の農業振興・活性化の決め手は何だとお考えですか。 (複数回答)



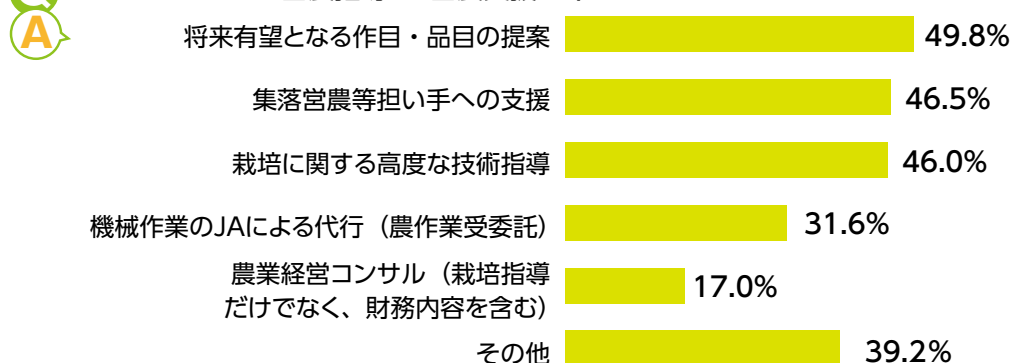
## VII. JAの営農振興計画のうち重要と思われる実践項目

Q JAの営農振興計画の実践項目は、次のうちどれが重要だと思いますか。 (3つ回答)



## VIII. JAに望む営農指導・営農支援

Q JAにどのような営農指導・営農支援を希望されていますか。 (複数回答)



## 第27回JA全国大会決議 (農業関連部分を要約・抜粋)

平成27年10月15日

# 創造的自己改革への挑戦

～農業者の所得増大と地域の活性化に全力を尽くす～

JAグループは、以下の実践に徹底して取り組みます。

- ① JAは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を自己改革の最重要課題として、組織一丸となって自己改革の加速化に向けて取り組みます。
- ② JAは、営農とくらしの課題に向き合う事業・組織活動のより一層の展開を通じて、「地域の活性化」に取り組みます。
- ③ JAは、役職員の意識改革と組合員組織の活性化等により、正・准組合員のメンバーシップ強化に取り組みます。これにより、上記とあわせて、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」を確立します。

## 第33回兵庫県JA大会決議 (農業関連部分を要約・抜粋)

平成27年11月16日

# —ひょうごの農と食、そして地域のために—

## I. 持続可能な農業の実現

### 1. 農業者の所得増大と農業生産の拡大

持続可能な農業実現のため、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に総力を挙げて取り組む。

### 2. JAの総合力を発揮した担い手支援

地域農業戦略を策定し、JAの総合力を発揮して担い手（個人・法人・集落営農等）や多様な担い手（ベテラン農家・兼業農家・自給的農家等）を支援する。

### 3. JAにおける担い手対策への支援強化

担い手から選ばれるJAグループ営農・経済事業を構築するため、県域・JAが連携し、担い手対応の体制を整備する。